



市立病院だより

～市民の健康といのちを守ります～

☎ 市立病院 ☎ 87・1161 FAX 87・5624

Time is brain!

脳卒中は早く治療することが大事

脳神経外科 主任医長 美山 真崇^{まさたか}

日本脳神経外科学会専門医・指導医。日本脳神経血管内治療学会専門医。防衛医科大学卒業。10年間、脳神経外科医として関東・北海道で研鑽を積みつつ、自衛隊医官として部隊勤務や熊本地震、新型コロナウイルス感染症対応などの災害派遣に従事。4月から市立病院で勤務。



脳卒中とは頭の血管が詰まったり破けたりすることで、手足が動かなくなったり、言葉が出なくなったり、意識がなくなったりする病気です。卒中の語源は「卒然（突然）として邪風^{じやふう}に中^{あた}る」ということで、昔の人は、突然手足が動かなくなるのは、悪い風に当たったからと考えていたようです。脳細胞は一度破壊されてしまうと、現代の医学では再生不可能です。寿命まで元気に生活するためには、何よりも「脳卒中にならない」、つまり、予防が大事です。

脳卒中の予防として最も大事なのは、高血圧、高脂血症、糖尿病など生活習慣病の早期発見・治療です。普段から検診を受け、血圧、血糖値、コレステロールが高いなどの異常があれば、お近くのクリニックへ相談してください。

ただ、残念ながら、しっかりと予防しても脳卒中を完全に防げる訳ではありません。片側の手足が動かない、言葉が出ない、顔が歪^{ゆが}んでいるなどの症状がみられた場合は脳卒中を疑い、可能な限り早く病院を受診しましょう。発症から治療までの時間が短ければ、血栓を溶かす「t-PA療法」、カテーテルで詰まりを開通させる「血栓回収療法」により、後遺症を軽くできる可能性があります。

「Time is brain!」脳卒中になったときは、できるだけ早く治療するのが大事です。

市立病院では24時間365日脳卒中の治療を行っています。緊急時を除き、お困りの際はかかりつけ医を受診し、紹介状を持って当院を受診してください。

市民公開講座「役に立つ! がんの放射線治療」

- 日 10月7日(土) 14時～15時半
- 場 ソリオホール(申し込み不要、直接会場へ)
- 内 「放射線治療の基礎知識」
講師は放射線治療センター副センター長 新谷 堯^{たかし}
「切らずに治す がんの放射線治療」
講師は放射線治療科主任医長 阿南 慎平^{あなみ}
- 手 あり
- 問 同病院(☎87・1161)

ラジオ「市立病院の得した気分!」



- エフエム宝塚(83.5MHz)で市立病院の医師などがお話しします。
- 日 10月14日(土) 17時20分～17時50分
(再) 10月15日(日) 19時～19時半
- テーマ: Time is brain! 脳卒中は早く治療することが大事
- 出演: 脳神経外科主任医長 美山 真崇

がんサロン「セキレイ」(対面式とZoomの同時開催)

- がん患者同士の不安や悩み、体験を話す交流の場です。
- 日 10月18日(水) 15時～15時40分
- 場 がん診療支援センター(現地参加は予約不要。開始10分前までに直接会場へ)
- 対 がん治療中の人とその家族
(当院を受診していない人でも参加可能)
- 問 同センター(☎87・1161)



Zoom 申し込み

救急受け入れ停止

11月12日(日)6時～18時は、受変電設備点検による計画停電のため、救急診療を停止します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。

